



病院経営の変革に取り組む人材を育成するプログラムを開始 平成29年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

横浜市立大学は、平成29年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」*1に採択された事業「都市型地域医療を先導する病院変革人材育成」(事業責任者:附属市民総合医療センター病院長 後藤隆久)として、平成30年度から医療経営人材を育成する「YCU病院経営マネジメントプログラム」(履修証明プログラム*2)を開始します。

横浜市は、超高齢社会が進行していく中で、地域医療に都市特有の課題を抱えており、大学病院をはじめとする急性期病院の経営は非常に難しい局面を迎えています。そこで、本事業では、横浜市医療局と連携して、これら地域の課題を踏まえながら経営戦略を立てていける医療人材(病院経営幹部、行政担当者等)を育成することを目指しています。

◇「YCU 医療経営マネジメントプログラム」概要

社会人(医師、看護師、病院事務管理職、医療行政担当者等)を対象とした1年間(120時間)の履修証明プログラムです。地域医療の中核を担う病院の病院長や幹部候補の養成、地域医療システムを先導する人材育成を目指し、e-learningやケーススタディなどを組み合わせ、仕事をしながら修了することができる1年間のコースです。医学研究科、国際マネジメント研究科、附属病院、附属市民総合医療センターの4拠点で、幅広い専門分野の教員が指導にあたります。講義のみならず、特別研究では、教員やコーディネーターのサポートのもと、各自が病院の経営課題をテーマ設定し、解決に向けて、データ収集・分析・解決策の提案を行い、その成果を中間報告会で発表、最終的にレポートにまとめるなど、実課題を解決する力を身に付けます。

<平成30年度 履修生募集の概要>

募集の対象	医療又は行政関係の職務に3年以上携わっている者
募集人数	10名程度 ※社会人対象のため、e-learning等受講しやすい環境を整備します。
必修科目	医療政策学、医療経営学、安全管理学・ガバナンス、特別研究
選択科目	臨床医学概論、臨床統計学、医学教育学、看護管理学、看護政策学、調査方法論、公会計研究、医療イノベーション経営(1科目選択)
履修期間	1年間 120時間
出願期間	2月9日(金)～2月19日(月)
受講料	無料(教材費実費)

※ 詳細はWebサイト http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~hp_mgt/information/ をご覧ください。

※「課題解決型高度医療人材養成プログラム」*1、「履修証明プログラム」*2については、裏面参照

* 1 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」

本プログラムは、全国の大学・大学病院における人材養成機能を一層強化し、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材を養成することを目的に平成 26 年度より実施されている事業です。今年度新たに、健全な病院運営実現のための教育プログラムの開発及び教育体制を構築し、地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案能力を兼ね備えた医療人材を養成するため、「病院経営支援に関する領域」をテーマとして公募され、応募 17 件中、10 件が採択されました。

<平成 29 年度 本プログラムの採択内容>

事業年度：平成 29 年度～平成 33 年度 5 年間（予定）

補助金額：初年度 1 千万円（4 年目は 2/3、5 年目は 1/3）

文部科学省 WEB サイト http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1384648.htm

本学の採択事業「都市型地域医療を先導する病院変革人材育成」の内容と特色

急激な高齢化により、大学病院は様々な新たな課題に向き合うこととなります。典型的な都市型地域医療の課題－高齢化に伴う急性期病床の過剰と回復期・慢性期病床や地域の介護力等の不足、大学病院の使命である高度医療、急性期医療を終えた患者を地域に戻す際の困難さ等－を克服し、大学病院の健全経営を担保するために、以下の資質を備えた人材の育成を行います。

◆医療安全や病院管理等の基本的資質に加え、地域毎の医療環境の中での自院の戦略的ポジショニングを考え、大学病院を変革する力

◆地域の医療・介護システムを構築していく中で大学ならではのリーダーシップを発揮し、病院単独では解決できない経営問題をその地域の行政、医療・介護の担い手、住民等と協働しながら解決する力

この事業で実施するプログラムは、医学研究科、国際マネジメント研究科、附属 2 病院が連携して提供することを特色としています。「特別研究」では、実際の病院経営課題、履修者の所属病院の経営課題、行政での課題について、ケーススタディを行います。履修者にあわせた課題について学ぶことで、その後のキャリアに活かしていけることが履修生の最大のメリットです。

なお、横浜市の行政や中核病院をはじめとする地域の医療機関や医師会、訪問看護ステーション、薬局等とも連携を予定しており、この事業により都市型地域医療システムの構築に貢献します。

* 2 「履修証明プログラム」

平成 19 年の学校教育法の改正により、創設された制度（「履修証明制度」）。学生を対象とする学位プログラムとは別に、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付するものです（法第 105 条等）。

大学病院の経営を支える人材を育成し、横浜を初めとする都市圏の課題に取り組む

大学病院がブランド力だけで患者さんを集める時代は終わりました。大学病院も医療を取り巻く外部環境や政策の変化に対応し、自らが変わることで、より多くの患者さんを選んでいただく病院になっていかなければなりません。

特に横浜を初めとする都市圏は、これから始まる急激な高齢化、希薄になりがちな人間関係、地域の介護力不足など、いくつか特徴的な課題を抱えています。

このような課題に取り組む人材を育成するため、本コースは、経営に携わる幹部はもちろんのこと、職種、院内外を問わず大学病院の経営を支えるすべての方に、医療経営学、政策学の理解と、考察のトレーニングを行うことを目的として開設いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

事業責任者 横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長 後藤 隆久



横浜市の地域医療の特性や将来の課題に深い理解をいただける人材育成を

超高齢社会の到来により複雑化・高度化する医療課題や、多様な市民・患者ニーズに応えるため、医療だけでは解決できない課題が増え、病院経営や医療政策に加え、地域医療構想、介護・福祉との連携等、地域包括ケアシステムなどに関する幅広い知識が求められることは、大学病院運営を担う皆さんにも言えることではないでしょうか。

国・県の政策や、医療経営の知識とともに、横浜市の地域医療の特性や、将来の課題などにも理解を深めていただけるよう、横浜市立大学と連携して人材育成を目指していきます。

将来的には市立病院や地域中核病院等の経営における中心的な役割を担う人材の育成に拡がっていくことを期待します。

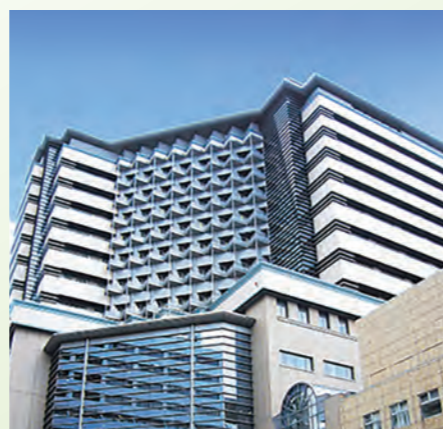
横浜市医療局長 増住 敏彦



■福浦キャンパス、附属病院
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9



■金沢八景キャンパス
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2



■附属市民総合医療センター
〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

● このプログラムは、医学研究科（福浦キャンパス）、国際マネジメント研究科、附属病院、附属市民総合医療センターの4拠点で展開しています。



■お問い合わせ
横浜市立大学 福浦キャンパス学務・教務課
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9
TEL: 045-352-7968 FAX: 045-787-2767 E-mail: hp_mgt@yokohama-cu.ac.jp



平成 29 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択

「都市型地域医療を先導する病院変革人材育成」



高齢化とともに急速に変化する医療環境に大学病院を適応させ
複雑な都市の医療システム構築に貢献できる経営人材を育成

横浜市立大学

医学研究科・国際マネジメント研究科
附属病院・附属市民総合医療センター

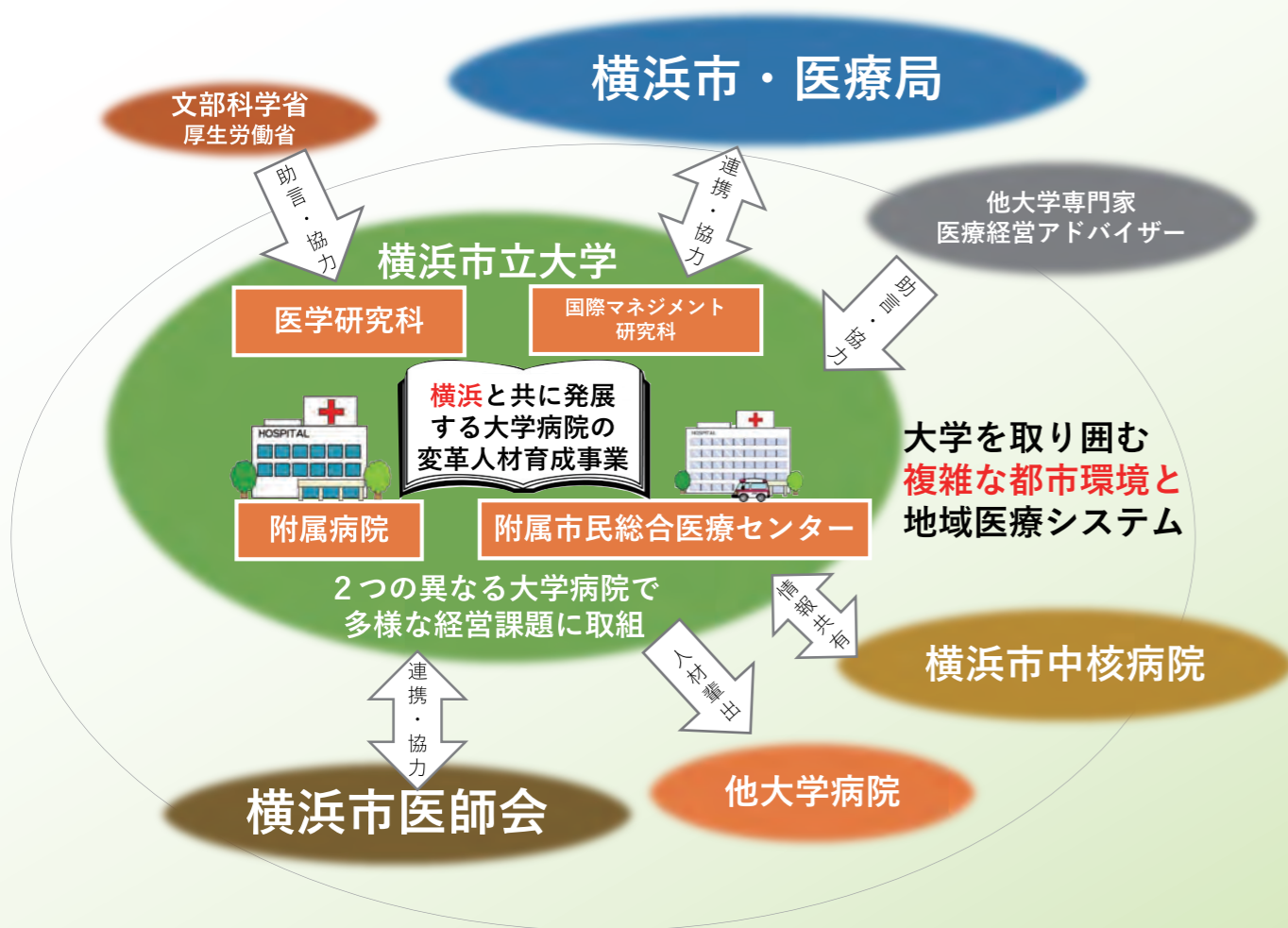
都市型地域医療を先導する病院変革人材育成

—大学病院長・幹部候補のライセンスとしての履修証明プログラム—

急激な高齢化により、大学病院は多岐にわたる新たな課題に向き合うことになります。典型的な都市型地域医療の課題—高齢化に伴う急性期病床の過剰と回復期・慢性期病床や地域の介護力等の不足、大学病院の使命である高度医療、急性期医療を終えた患者を地域に戻す際の困難さ等—を克服し、大学病院の健全経営を担保するために、以下の資質を備えた人材の育成を行います。

- ◆医療安全や病院管理等の基本的資質に加え、地域毎の医療環境の中での自院の戦略的ポジショニングを考え、大学病院を変革する力
- ◆地域の医療・介護システムを構築していく中で大学ならではのリーダーシップを発揮し、病院単独では解決できない経営問題をその地域の行政、医療・介護の担い手、住民等と協働しながら解決する力

■ 事業の実施体制図



※履修証明プログラムとは

学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学が特別に社会貢献等を趣旨として、主として社会人向けに体系的な教育プログラムを開設し、その修了者（120時間以上の履修を完了する者）に対し、法に基づき、学長名の履修証明書を交付するものです。

YCU 病院経営プログラム

大学病院長候補者、病院長を補佐する医師・医療従事者、看護管理職候補者、事務管理職候補者、自治体関係者などを対象にした1年間（最大2年間）のコースです。

■必修科目

医療政策学（15時間）

・地域医療構想等の医療政策 ・地域包括ケアシステム等の医療介護政策 ・横浜市における医療政策

医療経営学（15時間）

・医療経営のポイント、病院経営の理論と実際 ・DPC及び原価情報の活用による経営改善
・医療情報、医療データの二次利用方法

※上記2科目は、それぞれ e-learning で学ぶことができます。

安全管理学・ガバナンス（15時間）

・高度医療を行う大学病院の医療安全 ・病院のガバナンス

■必修科目 特別研究（52.5時間）

特別研究 ケーススタディ講座と現場の経営課題の改善提案を行う演習から構成されます。

■選択科目（以下から1科目以上選択。各科目22.5時間）

(医) 臨床医学概論、臨床統計学、医学教育学

(看) 看護管理学、看護政策学

(国マネ) 監査方法論、公会計研究、医療イノベーション経営

(医) 医学研究科医科学専攻科目 (看) 医学研究科看護学専攻科目 (国マネ) 国際マネジメント研究科科目

履修スケジュール（例）

